

石川県七尾美術館だより

平成21年4月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第57号(春号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



生誕地・没後400年記念前年祭

「長谷川等伯展～信春から等伯への軌跡～」より

- ㊤「萩芒図屏風」6曲1双内右隻 長谷川等伯 京都市・相国寺蔵
- ㊦「列仙図屏風」6曲1双内右隻 長谷川等伯 京都市・壬生寺蔵

展覧会紹介

平成21年4月25日(土)～

6月28日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

生誕地・没後400年記念前年祭

「長谷川等伯展」信春から等伯への軌跡」

4月25日(土)～5月31日(日)

「会期中無休」

◆第一・第二展示室

長谷川等伯(一五三九～一六一〇)は能登国七尾出身で、桃山時代に京都で活躍した画家です。

出身地にある当館では調査・研究はもとより、平成八年度より毎年「長谷川等伯シリーズ展」を開催し、平成十一年の開館五周年・七尾港開港百周年・七尾市制施行六十周年には国宝「楓図」(京都市・智積院蔵)を、平成十七年の開館十周年・当シリーズ十回記念には、わが国水墨画の最高峰と称される国宝「松林図屏風」(東京国立博物館蔵)を展覧、平成二十年には七尾生まれの長男・久蔵の生誕440年と言うことで、久蔵の代表作として著名な、国宝「桜図」を展覧しました。

さて、平成二十二年は等伯没後400年という節目の年で、東京国立博物館と京都国立博物館で大々的な「長谷川等伯展」が開催されます。そこで当館では、その前年となる今年に「生誕地・没後400年記念前年祭」「長谷川等伯展」信春から等伯への軌跡」を開催します。七尾初公開作品六点を中心に、信春時代の仏画から晩年の水墨画までを展示、一部長谷川派の作品も含めた十四点を紹介します。

また、前年祭を記念しての特別展示や講演会なども予定していますので、是非併せてお楽しみください。

《主な出品作品》

④ 「寒江渡舟図」 長谷川信春(等伯)

本図は平成十三年にサントリイ美術館で展示された作品で、美術館での展示は二回目となります。川を渡ろうと、蓑笠を着て舟を漕ぐ人物は、等伯が五十一歳で描いた高台寺圓徳院の「山水図」襖(元大徳寺三玄院蔵)の冬景を想起させます。現存する信春時代の水墨画は少なく、初期の学習状況を知る上でも貴重な作品といえます。



⑥ 「鬼子母神十羅刹女図」 長谷川信春(等伯)

⑦ 「鬼子母神十羅刹女図」 長谷川信春(等伯)

この「鬼子母神十羅刹女図」二点は、何れも東京国立博物館の調査によつて平成十四年と十七年に等伯筆と確認された作品です。

何れも袋形「信春」印が捺されていますが、妙傳寺本には「妙傳寺常住 主日敬三 元龜二辛未 季霜月十九日」とあり、妙傳寺三世の仏藏院日敬が発願者となり、等伯三十三歳の元龜二年に開眼供養が執り行われたと推定されます。

「鬼子母神十羅刹女図」については、高岡市大法寺にも永禄七年(二十十六歳)の年紀を持つ作品がある。

り、本成寺本には年紀はないものの、三点を比較すると、ある程度それぞれの年代の特徴を知ることができます。



⑦

⑥

⑨ 重文「日堯上人像」 長谷川信春(等伯)

本法寺は等伯生家奥村家の菩提寺・本延寺の本山で、日堯上人はその本法寺の第八世です。

墨銘から、三十歳で亡くなった上人の遷化像であることが知られます。卓布の龍紋や説教台上的法華経などは、細密な線描で描かれています。

本図の画面右最下部には「父道浄六十五歳 長谷川帶刀信春三十四歳筆」の書き込みと「信春」朱文袋形印が確認され、土居次義氏が「等伯・信春同人説」を提唱されるきっかけともなった作品です。



画面左下方に「于時元龜三壬申曆五月十二日」(三十四歳)の年紀があるものの、最近では三回忌の天正二年(三十六歳)制作とする見方もあります。作品を見る限りでは少なくとも三十四歳から数年の間に描かれたと考えられます。

⑫「松に鴉・柳に白鷺図屏風」 長谷川等伯

削り取られた「等伯」印が出光美術館による赤外線調査によって確認された作品です。

当時の画家たちが白黒を対比させて描くのは、中国に生息する叭々鳥と白鷺が一般的でしたが、等伯はあえて身近な鴉を選び、それも微笑ましい家族の姿で描いたのです。左隻の白鷺も番と見られ、そこからは「人間等伯」が感じられます。

⑫右隻

⑫左隻



⑭「探梅騎驢図屏風」 長谷川等伯

本図は水墨を基調に淡彩が施された作品で、両隻に「自雪舟五代長谷川法眼等伯筆ノ六十八歳」の墨書と、「長谷川」等伯の印が確認されます。

樹木や岩の形状において、部分的に妙心寺隣華院の「山水図」襖と近似しますが、一部の法眼落款作品と同じく墨色が濃く、等伯五十歳代から六十歳代前半頃の、潤いのある微妙な墨の濃淡はほとんど見られません。或いは、弟子との合作、工房制作の可能性も検討されます。

《出品作品》(◎＝重文、□＝県文)

- ①「武者図屏風」 長谷川派 六曲一双内左隻 紙本墨画淡彩 江戸前期頃 京都市・個人
- ②「波龍図屏風」 長谷川左近 六曲一双内左隻 紙本墨画金泥引 江戸前期 高野山・金剛三昧院
- ③「龍虎図屏風」 長谷川宗也 六曲一双 紙本墨画金泥引 江戸前期頃 京都市・相国寺
- ④「寒江渡舟図」 長谷川信春(等伯) 一幅 紙本墨画淡彩 寄来・桃山初期 東京都・個人
- ⑤「善女龍王図」 長谷川信春(等伯) 一幅 絹本着色 室町末期 石川県七尾美術館
- ⑥「鬼子母神十羅刹女図」 長谷川信春(等伯) 一幅 絹本着色 室町末期 三条市・本成寺
- ⑦「鬼子母神十羅刹女図」 長谷川信春(等伯) 一幅 絹本着色 室町末期 富山市・妙傳寺
- ⑧「愛宕権現図」 長谷川信春(等伯) 一幅 絹本着色 室町末・桃山初期 石川県七尾美術館
- ⑨「日堯上人像」 長谷川信春(等伯) 一幅 絹本着色 室町末期 京都市・本法寺
- ⑩「陳希夷睡図」 長谷川信春(等伯) 一幅 紙本墨画 桃山時代 石川県七尾美術館
- ⑪「列仙図屏風」 長谷川等伯 六曲一双 紙本墨画淡彩金泥引 桃山時代 京都市・壬生寺
- ⑫「松に鴉・柳に白鷺図屏風」 長谷川等伯 六曲一双 紙本墨画淡彩 桃山時代 東京都・出光美術館
- ⑬「秋芒図屏風」 長谷川等伯 六曲一双 紙本金地著色 桃山時代 京都市・相国寺
- ⑭「探梅騎驢図屏風」 長谷川等伯 六曲一双 紙本墨画淡彩金泥引 桃山時代 京都市・相国寺

※⑤⑫は前期展示(4/25～5/12)、①②⑧は後期展示(5/13～5/31)です。

《特別展示》

前年祭を記念して、貴重な作品を特別公開します。

★綴れ織りによる、京都祇園祭浄妙山懸装品

①長男久藏筆国宝「桜図」の前懸

②等伯筆国宝「楓図」の後懸

★洞爺湖サミット会場を飾った話題の作品

③等伯筆国宝「松林図屏風」の複製



《記念講演会》

日時 4月29日(水・祝)

午後2時～3時15分

講師 松嶋雅人氏

(東京国立博物館主任研究員)

演題 「三つの鬼子母神

十羅刹女図について」



◇ご講演終了後、当館嶋崎館長との対談もありますので、是非続けてご聴講ください。

◇ご聴講の方には、等伯関連ハガキを一枚プレゼントします。

《子ども情報》

★会期中、毎年恒例の小中学生対象「等伯なんでもクイズ」を開催、全問正解者の中から抽選で、等伯関連グッズをプレゼントします！

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	700円	600円
			300円

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。

ミュージアムグッズのお知らせ

受付カウンターのミュージアムショップでは、生地・没後400年記念前年祭「長谷川等伯展」開催を記念して、関連グッズを販売します。本展図録はもちろんのこと、各種絵はがきやクリアファイル、一筆箋などもあります。

さらに、当館での取り扱いが会期中のみとなる素敵な期間限定グッズも販売します。数に限りがありますので、お早めにお越しください。
是非、記念に、お土産にどうぞ♪



「第65回現代美術展 七尾展」

6月5日(金)～28日(日)

◇第一・第二・第三展示室

毎年四月に開催される「現代美術展」は、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門で行われる、県下最大規模を誇る公募展です。

戦後間もない昭和二十年十月に「美術文化の向上による新日本建設への寄与」をスローガンとし第一回展が開催され、以後、毎年継続され今回で六十五回目を迎えます。

展示作品は委嘱作品と一般公募から構成されます。委嘱作品の部では、文化功労者や日本芸術院会員、人間国宝を筆頭とする出品委嘱作家(石川県美術文化協会会員)の作品を、一般出品の部では、長年、制作活動を続けている作家から新進気鋭の作家まで幅広い層から応募があり、入選率五割という厳しい審査を経て選ばれた作品を展示するもので、これらの総点数は千点にもおよびます。

今年は四月四日から石川県立美術館(日本画・書・写真)と金沢21世紀美術館(洋画・彫刻・工芸)の二会場にわかれ開催されます。

前回、新たに一般の部において入選十回、もしくは最高賞を受賞した作家を石川県美術文化協会の「会友」とする制度が設けられました。今年も既に新委嘱作家や新会友が発表されています。

七尾展は昭和二十一年六月の第二回展が開催された後は、平成七年四月の当美術館開館を機に、毎年「現代美術展」の地方展という形で開催され、今年で十五回目を迎えます。

今年も「第65回現代美術展」出品作品の中から、石川県美術文化協会役員の作品、能登地区在住お



昨年の展覧会の様子



よび出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品、能登地区(宝達志水町以北)在住者の作品が選抜し、紹介します。輪島塗の優品など能登の風土が反映された作品が数多く出品されます。

全ての部門において所属会派を超えて出品される作品を一堂に鑑賞することができ、現在の石川県における美術の流れを展覧する絶好の機会といえます。

今年はどうのような作品が出品されるのでしょうか。あなたの町の、あの人の作品も探してみてください。美術を身近に感じることでできる展覧会です。

主催(予定)

七尾市、財団法人七尾美術館、財団法人石川県美術文化協会、北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、財団法人芸術文化協会、ラジオななお能登地区各教育委員会

後援(予定)

◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	500円	400円
			300円

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。

◆定期ビデオ上映会年間予定◆

毎回午前11時～（上映時間約30分）

一年を通して「シリーズ 北陸の工芸作家 石川の匠たち」のビデオを上映します。

石川県内の文化功労者、芸術院会員、人間国宝らにスポットをあて、作者本人へのインタビューを交え、その人と技・作品を紹介します。

※都合により、上映作品を変更することがございますが、ご了承ください。

「シリーズ 北陸の工芸作家 石川の匠たち」

5/2（土） 煌めき 人間国宝 前 史雄

6/13（土） 石川の匠たち ダイジェスト版（50分）

浅蔵五十吉・大場松魚・大樋長左衛門・川北良造
塩多慶四郎・隅谷正峯・寺井直次・徳田八十吉

7/11（土） 響 人間国宝 魚住 為衆

8/8（土） 輝彫 人間国宝 中川 衛

10/10（土） 邂逅 人間国宝 隅谷 正峯

12/19（土） 土火への祈り 大樋焼十代 大樋長左衛門

2/13（土） 光彩 日本芸術院会員 三谷 吾一

アートホール催し物案内

宗家藤間流日本舞踊「恵の会」発表会

4月12日（日） 開演 午後1時

宗家藤間流日本舞踊、藤間恵社中門下生一同による発表会です。七尾、中能登、金沢でお稽古を積んだ成果を是非見て頂きたいと思えます。どなたでもお気軽にご来場ください。

入場料 無料

主催 恵の会

連絡先 夢華 ☎0767（52）5028

第30回 等伯まつり

4月24日（金）

開演 総会 午後1時

セレモニー 午後1時30分

定期総会

前年度の報告と今年度の事業計画・予算などについて協議します。

等伯顕彰セレモニー

箏、尺八の演奏・献茶・献歌・献句・コーラス等。

入場料 無料

主催・連絡先 等伯会（石川県七尾美術館内）

☎0767（53）1500

第29回小丸山さくらまつり協賛

等伯子ども写生大会 表彰式

5月17日（日） 開演 午前10時

4月12日（日）に小丸山公園（七尾市）にて開催される「等伯子ども写生大会」の入賞者表彰式を行います。

入場料 無料

主催 等伯会

連絡先 藤井三樹成

☎0767（53）4669

舞台上で遊ぶうゝ剣と舞 おさらい会

6月7日（日） 開演 午前10時30分

現代グローバル化が進む中、自国の伝統文化を大事に継承し、地域文化の普及と発展に少しでもお役に立ちたく、会員の日頃の練習成果を発表します。皆様お誘いあわせご来場ください。

入場料 無料

主催 剣詩舞道 静山流 工口静蓉月社中

連絡先 宮本哲子

☎090・4687・9450

ご応募ありがとうございました 美術館だより第56号（冬号）掲載 クロスワードパズル解答編

れ	い		か	ち	か	ち
き	も	だ	め	し		か
し		し		や	さ	い
	ご		は	く	し	
か	ん	ぶ	つ		こ	く
	げ	ん	こ	つ		ま
ち	ん	き	い		た	で

A	は
B	ち
C	ぶ
D	ん
E	め

クイズの答え

喫茶室からのお知らせ

春の新メニューをご用意し、皆様のご来店をお待ちしております。

長谷川等伯展から新登場！

緑茶のモンブランケーキ

その1 三五〇円

甘く、爽やかな苦味と香りがお口いっぱいひろがります。話題の和素材ケーキです。

その2 「からだにやさしいごはん」のセット 五八〇円

和風ごはん（黒米入り根菜）ごはん、または麦入り桜えびごはん、小鉢の一品とお味増しがついたセットメニューです。



『わたしと七尾美術館』

薮 万代さん（津幡町在住）

私が友の会の会員になってよかったことは会員向けの催しに参加できることです。なかでも印象に残っているのは「石膏デッサン」体験講座です。子どもの頃は絵を描くことは好きでしたが、大人になってからはほとんど描いたことはありませんでした。そのうえキャンパスに描くのも初めてでしたが、講師の方に親切に教えていただき楽しく描き上げることができました。よい思い出です。

また、オープニングセレモニーに参加したことも楽しい体験でした。いつもはテレビで見ていたテープカットのシーンを実際に見ることができて感動しました。展覧会への期待感が増し、わくわくした気分で見ることができました。

そして美術館での私のお気に入り、ティールームでお茶することです。明るく清潔で、静かな空間で一服すると心が癒されます。窓からはきれいに手入れされたお庭が見え、清々しい気持ちになります。今後も、また行きたくなる美術館づくりをお願いします。



ただいま、石膏デッサン中！
後ろ姿中央の女性が薮さんです。

平成21年度 友の会事業カレンダー

2009 4月

●美術館だより(57号)春号発行

○4月24日(金)「長谷川等伯展～信春から等伯への軌跡～」

開会式へ友の会会員をご招待！式典終了後には展覧会の鑑賞(無料)もできます

◆会期初めに友の会会員対象の列品解説を開催(※)

7月

●美術館だより(58号)夏号発行

8月

○8月1日(土)「今、よみがえる天才放浪画家－山下清展」開会式へ友の会会員をご招待！式典終了後には展覧会の鑑賞(無料)もできます

◆「今、よみがえる天才放浪画家－山下清展」にて友の会会員対象の列品解説を開催(※)

9月

◇友の会会員対象「美術講座」を開催予定

10月

●美術館だより(59号)秋号発行

◎「第10回友の会鑑賞の旅」平成21年10月25日(日)に開催予定

貸切バスで名古屋方面へ、名古屋市博物館で開催「妙心寺展」などを見学します

11月

○11月6日(金)「2009イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式へ友の会会員をご招待！式典終了後には展覧会の鑑賞(無料)もできます

2010 1月

●美術館だより(60号)冬号発行

◇友の会会員対象「美術講座」開催予定

注：(※)印の催しは会員本人と同伴者2名まで参加できます



平成21年度 「等伯会」会員募集のご案内

【等伯会とは】

七尾が生んだ画聖、長谷川等伯を顕彰し、その偉業を後世に伝えると共に地域文化の向上をめざすことを目的としています。

【年間行事】

◆等伯まつり・等伯顕彰セレモニーの開催

◆等伯子ども写生大会の開催

◆美術探訪旅行

春・秋の年2回開催

◆等伯忌法要

日時 毎年2月24日

場所 本延寺(等伯の生家・奥村家の菩提寺、七尾市)

【年会費】

◆3千円(石川県七尾美術館友の会会費1千円を含む)

等伯会入会と同時に石川県七尾美術館友の会会員にもなります。また、等伯会独自の特典として毎年、等伯作品などの複製色紙を差し上げております。



今年度は「楓図(部分)」色紙です

【入会申込】

◆申込場所 石川県七尾美術館受付カウンターまたは郵便申込

※払込料金加入者負担の郵便振替用紙をご希望の方は、電話にて事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

石川県七尾市小丸山台一 石川県七尾美術館内
等伯会事務局 電話0767(53)1500 まで

平成二十年度 新収蔵品紹介

平成二十年度に新しく当美術館
所蔵となった作品を紹介します。

① 日本画「四季耕作図屏風」 狩野岑信

江戸時代前～中期(17～18世紀)制作

② 日本画「群鶴図屏風」 水道秋聖

昭和四十～四十二年(20世紀)頃制作

※①、②守澤亥吉・美代子氏より寄附

③ 日本画「踏切」 山本 隆

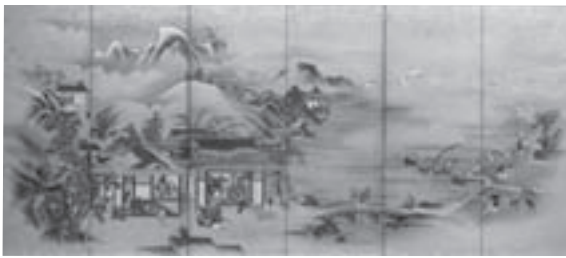
昭和五十七年(一九八二)制作

第29回全関西展読売新聞社賞受賞

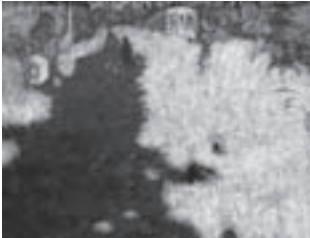
④ 日本画「生きる」 山本 隆

昭和五十八年(一九八三)制作

第35回京展出品



「四季耕作図屏風」(6曲1双内左隻) 狩野岑信



「沿線風景」 山本 隆



「銭湯」 山本 隆



「その箱をあけたとき」 小原瑛子



「釉裏金彩牡丹唐草文壺」 吉田美統



「志野釉壺『不動』」 澤崎俊治

⑤ 日本画「電車が通る」 山本 隆

昭和五十九年(一九八四)制作

第16回日展出品

⑥ 日本画「先斗町」 山本 隆

昭和六十年(一九八五)制作

第17回日展出品

⑦ 日本画「沿線風景」 山本 隆

昭和六十二年(一九八七)制作

第19回日展出品

⑧ 日本画「銭湯」 山本 隆

昭和六十三年(一九八八)制作

第20回日展出品

⑨ 日本画「寺田屋」 山本 隆

昭和六十三年(一九八八)制作

大和個展出品

⑩ 日本画「行楽の人」 山本 隆

平成元年(一九八九)制作

グループ「道」展出品

⑪ 日本画「ラムネ通り」 山本 隆

平成元年(一九八九)制作

第21回日展出品

⑫ 日本画「シネマ」 山本 隆

平成二年(一九九〇)制作

第22回日展出品

⑬ 日本画「夜」 山本 隆

平成二年(一九九〇)制作

第25回日春展日春賞受賞

⑭ 日本画「芝居が来た」 山本 隆

平成五年(一九九三)制作

第25回日展出品

⑮ 日本画「東海道(土山宿)」 山本 隆

平成九年(一九九七)制作

第29回日展出品

※③、⑮山本 隆氏より寄附



「黎明一午前5時」 勝本富士雄

⑯ 洋画「黎明一午前5時」 勝本富士雄

昭和四十五年(一九七〇)制作

⑰ 洋画「Rising Sun」 勝本富士雄

昭和五十年(一九七五)制作

M展出品

※⑯、⑰前田栄一・節子氏より寄附

⑱ 洋画「時刻の彼方へ」 小原瑛子

平成九年(一九九七)制作

第51回二紀展出品

⑲ 洋画「その箱をあけたとき」 小原瑛子

平成十九年(二〇〇七)制作

第61回二紀展同人賞受賞

※⑱、⑲小原瑛子氏より寄附

⑳ 陶磁器「釉裏金彩牡丹唐草文壺」 吉田美統

平成十九年(二〇〇七)制作

一水会陶芸部委員展出品

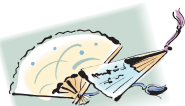
※吉田美統氏より寄附

㉑ 陶磁器「志野釉壺『不動』」 澤崎俊治

平成十九年(二〇〇七)制作

第60回記念創造展北華賞受賞

※澤崎俊治氏より寄附



これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

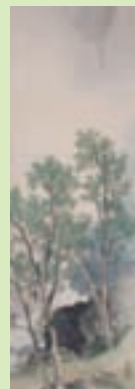
「池田コレクション名品展」

平成21年7月3日(金)～26日(日)

美術品のコレクションも様々で、特定のジャンルを集中的に集めた内容があれば、多くのジャンルを幅広く集めた内容のものもあります。当館所蔵品の中核である「池田コレクション」は後者にあてはまり、池田文夫氏（1907～87）が長年をかけて蒐集した美濃焼などの陶磁器や、近代の日本画、彫刻など日本美術の幅広い分野の作品によって構成されています。

本展では「池田コレクション」より、様々な名品を紹介します。

「溪橋雨後図」川合玉堂



◆第1・2・3展示室

「今、よみがえる天才放浪画家－山下清展」

平成21年8月1日(土)～9月27日(日) 会期中無休

放浪の天才画家「山下清」。その名はあまりにも有名ですが、本展は今までの展示とは違った切り口で、放浪中のエピソードや家族が語った清の資料なども加えて、「芸術家・山下清」と「人間・山下清」を、【貼絵との出会い】【心の風景 放浪時代の清】【芸術家・山下清の全仕事】【修復保存プロジェクト～現代に甦る山下清の代表作】【山下清・ヨーロッパへの旅】【遺作・東海道五十三次】【映像に観る山下清（清出演）】の7つのテーマで紹介します。山下浩氏（山下清作品管理事務局）を講師に招いての講演会「家族が語る山下清」や、貼り絵ワークショップも開催しますのでお楽しみに！



「長岡の花火」貼絵／1950年



「自分の顔」貼絵／1950年



「ロンドンのタワーブリッジ」貼絵／1965年
©清美社



割引、プレゼントなど特典いろいろ、ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅より約20分
市内循環バス……JR七尾駅前5番乗り場から西回りに乗車約6分（まりん号）

休館日のお知らせ

（4月～6月）

- ◆4月 6,13,20～24
- ◆5月 無休
- ◆6月 1～4,8,15,22,29,30

◎次号・第58号（夏号）は7月1日発行予定です。